



2026年6月15日

各 位

会 社 名 株式会社樋口総合研究所  
(コード番号 374A TOKYO PRO Market, Fukuoka PRO Market)  
代 表 者 名 代表取締役社長 樋口 陽平  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 吉森 祐太  
TEL 042-702-9780  
URL <https://www.higuchi-consulting.com/>

### TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

株式会社東京証券取引所が公表した「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」に基づき、当社の TOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、2025年7月4日付で株式会社東京証券取引所が運営する TOKYO PRO Market に上場いたしました。当社は、「みんながヒーローになれる社会をつくる。」という VISION を掲げ、IT エンジニアリング事業に取り組んでおり、上場を通じて以下の目的の実現を目指しております。

##### (1) 知名度・信頼性の向上による他社との差別化

IT サービス市場、特にエンジニアの労働を提供する形態のサービス領域においては、多数の事業者が存在しております。当社は、株式会社東京証券取引所が運営する公的な株式市場である TOKYO PRO Market への上場を通じて、客観的に評価された上場企業としての社会的信用を獲得し、他社にはない強固な信頼関係を築くことで差別化を実現し、当社の知名度及び信頼性の向上を図ってまいります。

## **(2) 顧客基盤の更なる拡大とより大きなプロジェクトへの参画**

当社は、IT エンジニアリングサービスを主軸に事業を展開し、これまで多数の主要取引先との実績を積み重ねてまいりました。上場により獲得する社会的信用を最大限に活用することで、より大きなプロジェクトや、これまでにアプローチが容易ではなかった新たな大手企業・優良企業などのクライアント層への支援領域の拡大を目指してまいります。これにより、安定的かつ持続的な事業成長を実現するとともに、高単価案件の獲得などを通じて安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

## **(3) 優秀な IT 人材の確保・育成と組織体制の強化**

国内 IT サービス市場における深刻な IT 人材不足と AI の発達という市場環境のなかで、当社の事業成長を支える基盤は、AI では提供できない価値を持つ「人材」そのものであります。上場企業としての社会的信用とブランドを背景とした採用力の向上を通じ、中途採用を中心とした優秀な人材の継続的な確保及び定着を実現します。また、独自の教育システムによる育成力を強化し、提供サービスの品質向上と、今後の事業領域の更なる拡大を支える組織体制の強化を図ってまいります。

## **2. 上場目的の実現状況**

上場後、当社は上記の上場目的の実現に向けて以下の取組みを進めており、現時点における実現状況は次のとおりです。

### **(1) 知名度・信頼性の向上**

2025 年 7 月の TOKYO PRO Market への上場に加え、同年 12 月には Fukuoka PRO Market への上場も果たし、上場企業としての情報開示体制やコーポレート・ガバナンスを適切に運用しております。当社の知名度、社会的な信頼性及び社内の定着率は着実に向上しているものと認識しております。これらを踏まえ、将来的なステップアップ上場を中長期的な経営課題として位置づけ、更なる内部管理体制およびコーポレート・ガバナンス体制の強化等を含む準備を継続的に進めております。また、収益成長の確立、ガバナンス

及び内部管理体制の高度化、コンプライアンス体制の充実など、社内体制が一定水準に達した段階で、一般市場上場に向けた具体的な検討・準備に着手する方針であります。

## (2) 顧客領域の拡大

上場後、新規取引先の獲得及び既存取引先との深耕が進捗しております。当社の IT エンジニアリング事業（システム開発・運用・保守、IT インフラ構築、プロジェクト管理等）の拡大を背景に、業績は順調に推移しております。今後も、複数名参画による価格交渉の強化や、より透明性の高い経営を強みとした営業活動により、顧客基盤の更なる拡大に取り組み、2030 年 5 月期に単体売上高 15 億円の達成を目標としてまいります。

## (2) 優秀な人材の確保

上場企業としてのブランドが採用市場における認知向上に寄与しており、未経験者を含めた中途採用が順調に進捗した結果、従業員数、稼働エンジニア数ともに増加傾向にあります。今後も人員の拡充と質の向上を両立し、每期 12 名以上の増加を目標に進めてまいります。

## 3. 今後の取組み

当社は、上記の上場目的の実現に向けた取組みを継続するとともに、業種に拘わらず人を育成・活躍させることを事業の中心に据えている企業の M&A や CVC による企業競争力の強化、収益性・財務の更なる強化に向けて、成果連動インセンティブ制度の運用、自社ツール開発、PM・IT コンサルタントの育成、組織文化の醸成など、多角的な施策を推進してまいります。

以上

.....

【ご留意事項】 本資料に記載された内容は、現時点における当社の認識及び予定に基づくものであり、当社の今後の事業展開又は業績等を確約するものではありません。経営環境の変化等により、本資料に記載した内容との間に乖離が生じる可能性があります。